

第2回CSディレクター意見交換会

CS通信22号



10月8日(金) 相良庁舎 会議室にて

内容

- ①教育長あいさつ
- ②代表者実践発表 牧之原小中学校 立花優子 CSD
- ③グループワーク
- ④連絡事項

<出席者> 各小中学校CSD

今野剛也さん・村松みどりさん・坪池芳子さん・八木順子さん・吉永尚由さん・村上和秋さん
江川司郎さん・鈴木一弘さん・左座勝之さん・伊故海芳則さん・立花優子さん



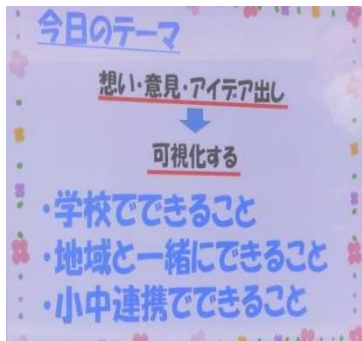
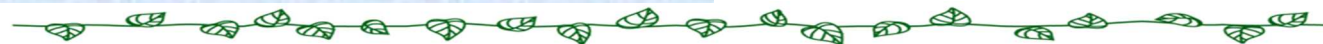
勝間田小の鈴木CSDから焼印ができたとのことで、**勝小どら焼き**の差し入れ!



CSD集結! 久しぶりに11人のCSDが集まり、互いにこれまでの実践を語り合い、成果や次に取り組むことのヒントを見つけることができました。話し合いの中で、「CSDとしての苦労はある。でもこれって役得だと思って私はやっている。」この言葉が印象的でした。11人のCSDが「おらんちの地域のために!」という熱い思いをもって取り組んでくださっていることに感謝と感激です。子ども目線で言えば、「学校に行くのが楽しみで、しょんない!」どの子どもそんな思いにすることこそが、学校運営協議会の役割であり、学校現場にいる大人の責務だと感じました。

実践を発表する立花CSD

実は、川崎小の村上CSDがスライドを作成してくださったそうです。こういう繋がりもいいですね! 今回の意見交換会のねらいは、CSDさんのネットワークづくりでもあるんです! そして、小中連携も見据え、まずは、CSDが中学校区の小・中の授業を参観してほしいなあ。



第2回 牧之原小・中学校運営協議会 令和3年10月11日(月)

運営協議員の山本さんがファシリテーター役となり、←左写真のテーマについてたっぷり時間をかけてワークショップが行われました。「地域と共にあると言うけれど、地域にそれが伝わっていない。」というきびしい現状を見つめ直したり、「帰省した大学生をボランティアで募り、小中学生の勉強のサポートに!」といった様々なアイデアを出し合ったりして、**学校と地域が一体になるための熱い時間**となりました。こうした語り合いって、肩ひじ張らずとも、互いの本音が素直に出されるだけでなく『確実に思いの共有化』ができ、有効だなと感じました。



学事出版 (定価2,420円)

この本は、「学校と社会をつなぐ」当事者として直面してきた課題やご自身の成長、そして姿勢が記述されています。5名のうち2名は、講演していただいた生重幸恵さん、東山田中学校コミュニティハウスの竹原和泉さんです。他の3名の方も生重、竹原両名同様パワフルの方々です。コミュニティ・スクールを進めるにあたってのヒントが満載の本です。購読してみてください。<お薦めの一冊>

三鷹フォーラム<11/6(土)>発表に向け、先日録画が行われました。牧之原市のCSを萩間小が代表して発表してくれます。是非Web参加を!

